

# 講演

## 内航海運における船員不足と その経済的影響の推計 (第108回月例会)

内航船舶の代表的な船型である499総トンの船舶1隻で、10トントラック約160台分、16KL型タンクローリー60台分に相当する貨物の輸送が可能であり、我国においては鉄鋼、石油製品、セメント等の産業基礎物資を中心にトンキロベースで4割を超える貨物が内航船舶によって輸送されています。

また、災害発生時の陸上の代替輸送や緊急物資輸送等において重要な役割を担っている内航船舶ですが、船員の高齢化や船員不足といった問題を抱えています。

今回は、神戸大学大学院海事科学研究科から石黒先生を講師にお迎えして、内航海運における船員不足等の問題が及ぼす経済的影響について講演していただきます。

### ■講師

神戸大学大学院海事科学研究科  
准教授 石黒 一彦 氏

### ■開催日時

令和6年4月25日(木) 15:00~16:00頃まで

### ■開催場

神戸市中央区東町115番地 神戸市中央区文化センター 10階  
1001-1002会議室(定員 50名)



### ■主催

公益社団法人 神戸海難防止研究会(担当: 渡川又は藤原)  
電話 078(332)2035

**入場無料 (定員50名)**